

#### (4) 8モデル地区の選定結果

図 3-18及び表 3-9にモデル地区の最終選定結果（8地区）を示す。図中の赤文字が漁港海岸のモデル地区を表す。また、表中のハッチ部が選定した8モデル地区を表す。選定基準を再掲載する。

- 被害が大きい施設（被害額を目安とした）
- 被災擾乱を考慮して選定（台風と低気圧）
- 地域が集中しないように選定（海域、地方）

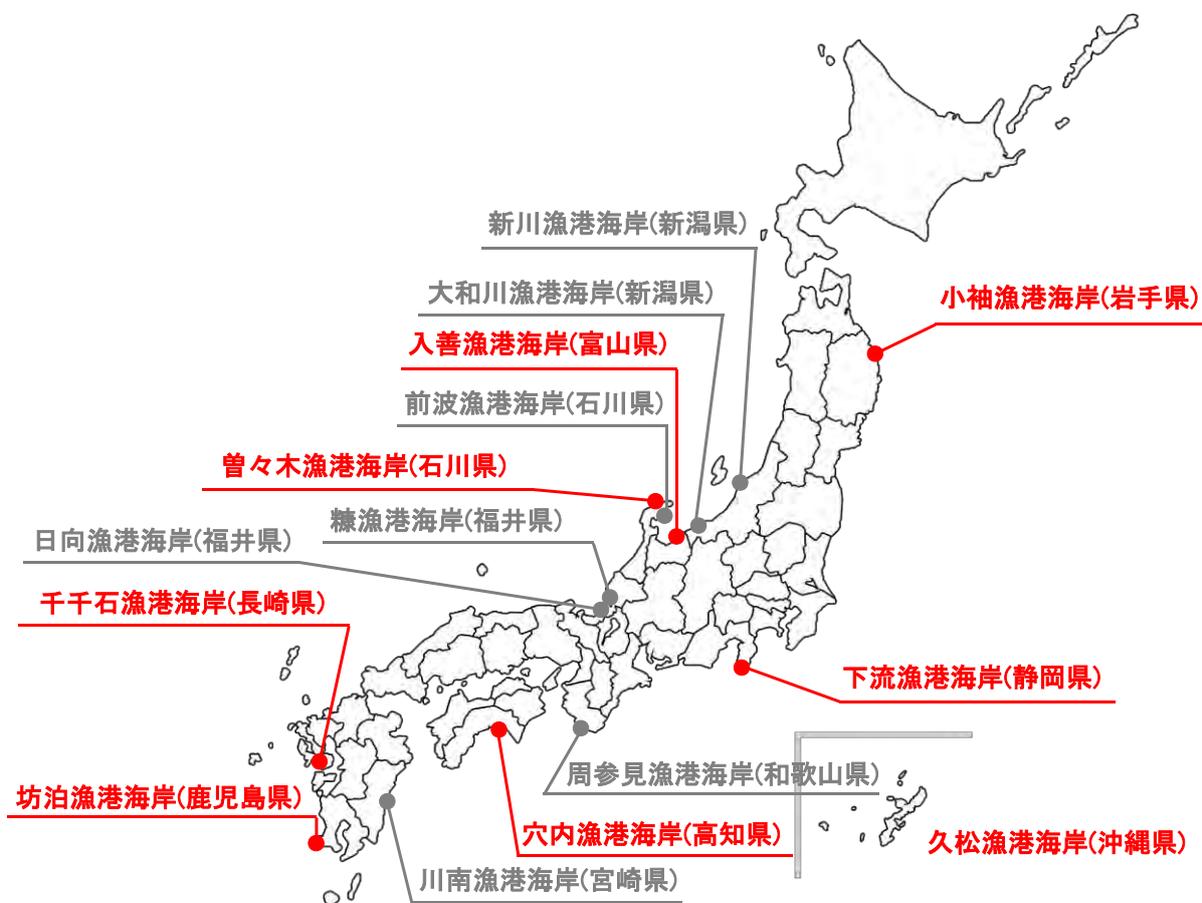


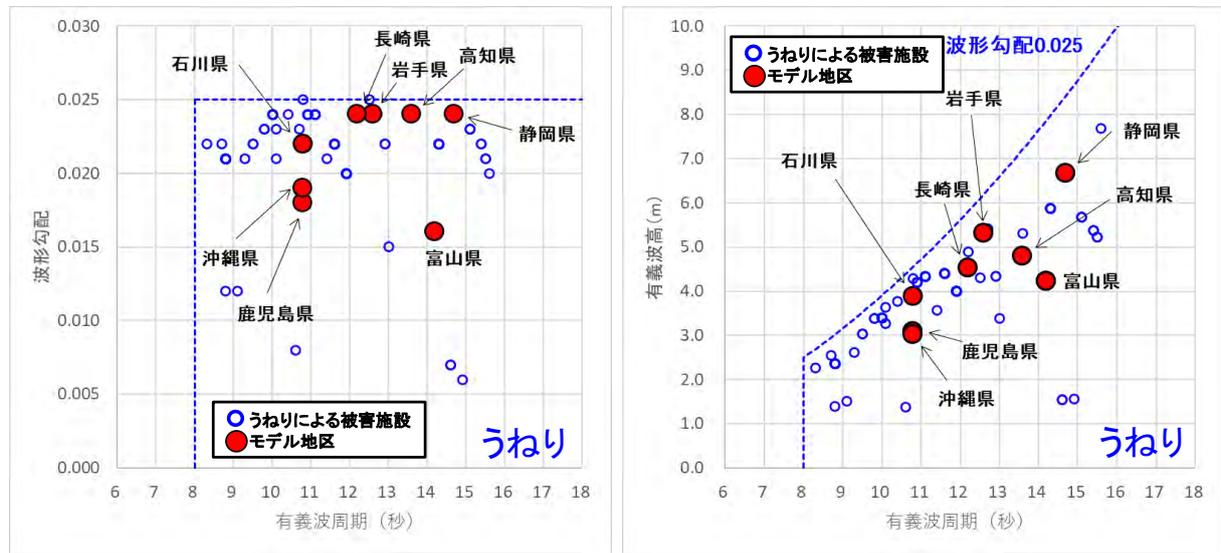
図 3-18 モデル地形の選定結果（赤文字漁港が対象）

表 3-9 モデル地区の選定結果（ハッチ部漁港海岸が対象）

漁港海岸名	被災発生日	被災時の 気象擾乱	被災施設	被災箇所① (被災形態)	被災箇所② (被災形態)	被災箇所③ (被災形態)	施設被害額	被災資料	築造時の設計沖波					被災時の沖波諸元			
									設計書	波高	周期	波向	確率年	波高	周期	波向	波形勾配
小袖漁港海岸	2015年10月08日	台風23号	護岸(陸域)	被覆ブロック (散乱)	捨石	-	¥9,396,000	○	○	8.2	12.3	ENE	30年	7.36	13.2	×	0.027
新川漁港海岸	2001年02月02日	日本海低気圧	突堤(陸海域)	不明	-	-	不明	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-
大和川漁港海岸	2003年12月19日	日本海低気圧	護岸(陸海域)	消波ブロック (沈下)	根固ブロック (沈下)	-	¥402,150,000	○	×	×	×	×	×	×	×	×	-
入善漁港海岸	2008年02月24日	日本海低気圧	離岸堤(陸海域)	本體工 (散乱)	-	-	¥300,110,000	○	○	6.2	10.7	×	30年	6.2	13.8	×	0.021
入善漁港海岸	2008年02月24日	日本海低気圧	護岸(陸海域)	本體工 (散乱)	-	-	¥300,110,000	○	○	6.2	10.7	×	30年	6.2	13.8	×	-
前波漁港海岸	2004年08月19日	台風15号	護岸(陸海域)	本體工 (散乱)	-	-	¥11,059,000	○	×	×	×	×	×	×	×	×	-
曾々木漁港海岸	2002年01月08日	日本海低気圧	護岸(陸海域)	基礎マウンド (散乱)	-	-	¥86,332,000	○	×	×	×	×	×	×	×	×	-
福井県若狭湾沿岸	2012年12月06日	日本海低気圧	突堤(陸海域)	被覆ブロック (散乱)	-	-	¥100,000,000	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-
日向漁港海岸	2016年01月20日	冬型気圧配置	護岸(陸域)	本體工 (転倒)	-	-	¥3,923,000	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-
下流漁港海岸	2019年10月12日	台風19号	護岸(陸海域)	本體工 (崩壊)	天端コンクリート (崩壊)	-	¥8,965,000	○	×	×	×	×	×	×	×	×	-
周参見漁港海岸	2018年09月30日	台風24号	突堤(陸海域)	本體工 (滑動)	-	-	¥10,378,800	○	×	×	×	×	×	×	×	×	-
穴内漁港海岸	2014年8月8～10日	台風11号	護岸(陸海域)	消波ブロック (散乱)	根固工 (決壊)	本體工 (決壊)	¥515,464,000	○	×	×	×	×	×	×	×	×	-
千石漁港海岸	2012年09月17日	台風16号	護岸(陸域)	本體工 (沈下)	-	本體工 (決壊)	¥13,066,200	○	○	12.3	14.9	SW	×	7.24	12.1	SSW	0.032
川南漁港海岸	2005年09月04日	台風14号	護岸(陸海域)	本體工 (沈下)	-	-	¥1,997,000	×	×	×	×	×	×	9.9	10.7	×	0.055
坊泊漁港海岸	2006年09月18日	台風13号	護岸(陸域)	本體工 (散乱)	-	-	¥1,458,000	○	○	10.7	13.5	WSW	×	×	×	×	-
久松漁港海岸	2003年09月11日	台風14号	護岸(陸海域)	基礎マウンド (散乱)	本體工 (転倒)	付帯施設 (転倒)	¥14,550,000	○	×	×	×	×	×	×	×	×	-

×印は資料等が残っていないため不明

図 3-19は、選定された8モデル地区における被災時のナウファス観測地点の波浪諸元をプロットしたものである。選定された8地区は、波浪諸元が集中しないように選定されていることが確認できる。



有義波周期と波形勾配

有義波周期と有義波高

図 3-19 選定されたモデル地区の波浪諸元 (赤文字漁港が対象)

また、参考として、図 3-20に、ナウファス波浪データによる8モデル地区の被災時と現行沖波の波浪特性をまとめて示す。図より以下のような特性がわかる。

- 被災時の波浪は、築造時の波浪よりも波高が小さく、波形勾配が小さいも小さい
- 現行の波浪は、築造時の波浪よりも周期が長く設定されている

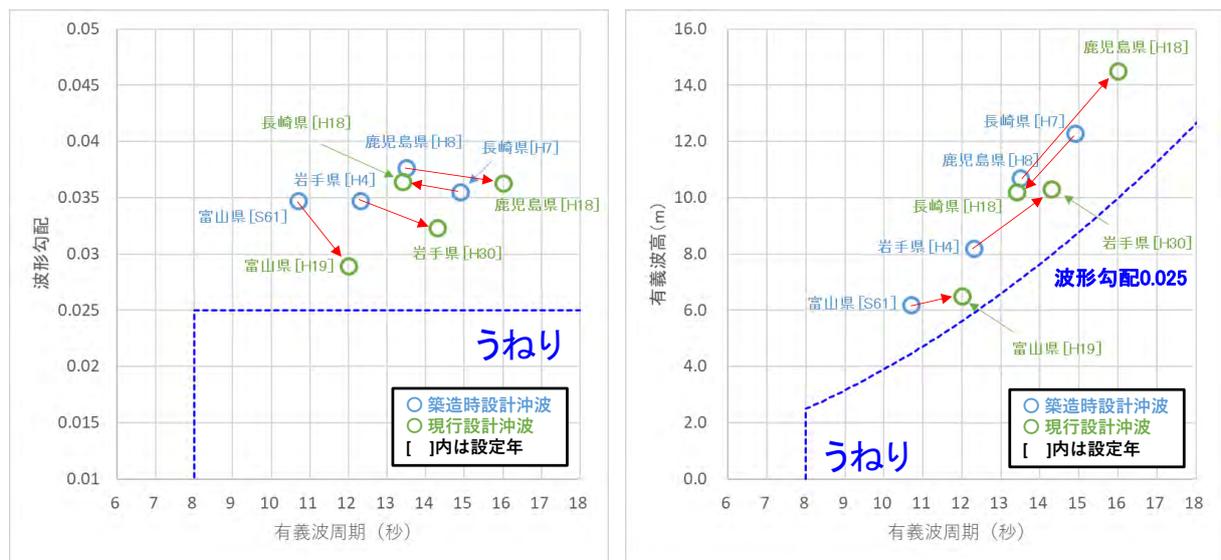


図 3-20 モデル地区の被災時と現行沖波の波浪諸元の比較